

## 全国及び佐賀県学習状況調査を学習指導の改善・充実へ！

4月19日に全国学力・学習状況調査と佐賀県小・中学校学習状況調査が実施されました。今年度の調査問題では、過去に指摘された課題について問う問題が全体の約3割程度出題されていました。この調査により、子どもたちの学力や学習の状況、課題等を把握することができます。また、調査問題そのものに込められたメッセージを確認することで、学習指導の改善・充実に生かすことができます。

### 資料1 「過去4年間の調査結果からの課題」を踏まえて出題された問題

【山田さんのグループの会話】

ボール遊びができて、お弁当を食べることができる広場に行きたい。  
 集合場所の「案内センター」に行きたい。  
 広くて涼しいところに行きたい。

【南町公園案内図】

案内センター、わんぱく広場、フラワー広場、グリーン広場、水遊び広場、ピクニック広場

【パンフレットのの一部】

広場	広場の説明	飲食	ボール使用
わんぱく広場	小さい子ども向けの遊び場です。小学生以上は遊べません。	○	○
フラワー広場	花畑があり、季節の花を楽しむことができます。	×	×
グリーン広場	阪ボールなどですべり降りることができる芝生の斜面があります。	○	○
ピクニック広場	緑が多く、公園の中で一番広い広場です。	○	○
水遊び広場	噴水があります。夏には、水遊びができます。	○	×

山田さんは、学校の遠足で「南町公園」に行きたいと考えています。そのパンフレットを参考に、決まらなければならない条件を調べて、どの広場に行くかを決めようとしています。次の条件を参考に、どの広場に行くかを決めよう。

⑤

平成28年度全国学力・学習状況調査 小学校国語A

資料1は、資料2の過去4年間（平成19年度～22年度）の調査結果からの課題④を踏まえて出題されたものです。実生活でも、図表やグラフなどの資料を用いて書かれているものをよく目にします。実生活のさまざまな場面で生きて働く力を養うことが求められていると再認識できます。

### <学習指導の改善・充実に向けて>

- ◇先生方も調査問題を解いて、どのような力が必要なのか再認識しましょう。
- ◇正誤だけでなく、誤答傾向や不十分な回答に着目し、子どもたちのつまずきを把握しましょう。
- ◇全職員で学習指導の改善・充実に向けて取り組みましょう！



### 資料2 過去4年間の調査結果からの課題〈小学校国語編〉

- ①司会の役割を果たしたり、立場や根拠を明確にしたりして話し合うこと（話すこと・聞くこと）
- ②調べて分かった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書くこと（書くこと）
- ③物語に登場する人物についての描写や心情、人物相互の関係を捉えること（読むこと）
- ④目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらに関係付けて読むこと（読むこと）
- ⑤複数の内容を含む文を分析的・統合的に理解すること（言語事項）

（出典）国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ」

## 共通理解・共通実践を！

学力向上のためには、対象学年だけでなく、学校全体での組織的・継続的な取組によって改善を図っていくことが大切です。互いに高め合いながら共通理解・共通実践を行っていくことができる学校。そんな先生方の姿は、子どもたちのモデルです。以下のことに留意して組織力を高め、学力向上に臨んでみてください。

- ◇子どもたちの実態を分析し、課題をしっかりと把握しましょう！
- ◇課題解決に向けて具体的な目標を立てましょう！
- ◇目標の実現に向けた授業づくりを具体化し、実践していきましょう！



# 日々の授業を振り返り、『西部型授業』でよりよい授業実践を！

『西部型授業』は、「子ども主体の考える授業」を組み立てるため、「つかむ・見通す・考える・考え合う・振り返る」を基本的な学習過程としています。子どもの確かな学力の定着・向上を図るため、これまであたりまえのこととして進められてきた指導過程の中には、忘れてはならない共通事項があります。それらを振り返ることで、よりよい授業づくりが実践され、子どもの学力向上につながると考えます。その共通事項の柱になるのが、『西部型授業』の学習過程です。今年度も、学習過程に沿った具体的な指導事例をシリーズで紹介していく予定です。

まずは、日々の授業について資料3を参考に確認してみてください。チェックシートは、「学力向上のための手びき」に載せています。西部教育事務所ホームページから簡単にダウンロードできますので、ご活用ください。

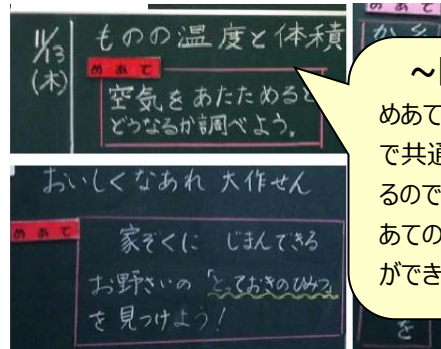


## 資料3 日々の授業づくり基礎・基本【チェックシート】

- 1 つかむ** (4ページを参照)
  - 意欲を高める手立てをとっていますか
  - めあてを板書していますか
  - めあてを読ませたり、書かせたりしていますか
  - めあては、終末で自己評価ができるものになっていますか
- 2 見通す** (4ページを参照)
  - 1単位時間の活動の流れを具体的に示していますか
  - 先生の話す時間を短くし、子どもの活動の時間を確保していますか
- 3 考える** (5ページを参照)
  - 子どもが考える時間を確保していますか
  - 自分の考えをもたせるために、ヒントカードやキーワードを示すなど手立てをとっていますか
  - 考えたことを書かせていますか
- 4 考え合う** (5,6ページを参照)
  - 他の人と考えを交流する場を確保していますか
  - 交流のための具体的な視点を示していますか
  - 子どもの発言をつなげたり、比べたりしていますか
- 5 振り返る** (7ページを参照)
  - 学習のまとめを行っていますか
  - 子どもに自己評価をさせていますか
  - 時間内に終わっていますか

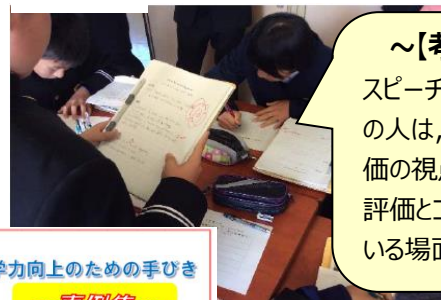
## 資料4 『西部型授業』の具体的な取組例

### 〈事例①〉



～【つかむ】過程～  
めあての板書です。全校で共通して取り組んでいるので、子どもたちのめあての意識化を図ることができています。

### 〈事例②〉



～【考え合う】過程～  
スピーチをしています。周りの人は、そのスピーチを評価の視点に沿って聞き、評価とコメントを記録している場面です。

**〈西部教育事務所ホームページをご活用ください！〉**

西部教育事務所ホームページには、「学力向上のための手びき」をはじめ、先生方に役立てていただきたいアイテムを多数掲載しています。また、他の機関にも簡単にアクセスできます。ぜひ、ご活用ください！

まずは、ここをクリック！

**西部教育事務所HP**  
<http://cms.saga-ed.jp/hp/s-kyoikujimusho/>

**西部教育事務所 北部支所HP**  
<http://cms.saga-ed.jp/hp/h-kyoikujimusho/>



〈学力向上のための手びき～事例集～〉  
上のような事例を写真入りで、わかりやすく紹介しています！ご覧になってください！